

酒田光陵 スポーツ・文化後援会

会報第8号 2024.7



日頃より酒田光陵高等学校スポーツ・文化後援会の運営に對しましての企業、個人会員の皆様のご支援に、心より感謝申し上げます。お蔭様をもちまして本校の各運動部・文化部は充実した部活動を行っており、生徒たちも有意義な高校生活を送っております。

本年は新型コロナウイルスの影響もなく、生徒たちは活発な活動に励んでいくことと思っております。令和5年度も全国大会等への出場を果たした生徒が数多くおります。運動部では体操部、剣道部、ウエイトリフティング部、ボート部、少林寺拳法部、相撲部、文化部では書道部、メカニカル技術部、電気電子技術部、ITサイエンス部等の多くの人が出場し、東北大会にも多くの生徒が活躍しております。これからの生徒の皆さんからは部活動中のけが・事故等に気を付けていただきながら、積極的に部活動を行っていただければなりません。

十年以上の歴史を持つ本校として、生徒の皆さんのさらなる活躍を願う次第です。そのためには本校スポーツ・文化後援会会員の皆様には末永いご支援ご理解をいただきながら、本校の部活動に一層の応援をいただきたいと思います。

今後も学校と協力しながら、会員拡大と充実した後援会活動を進めてまいりたいと考えておりますので、皆様の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

平素より、皆様におかれましては、本校教育活動に對しまして御理解と御支援を賜り、衷心より感謝申し上げます。令和5年度は災害級の酷暑ではありましたが、各学級行事をはじめ、これまでの学校の学校生活を送ることができました。令和5年度は幅広い分野の著名人からの講演会を開催し、生徒たちも琴線に触れる心に残った一年であったと思います。

これからの生徒、そして我々教職員も多様な社会で生きるために、より良い学校生活の工夫や、学業はもとより特別活動等に熱意を失わないよう取り組んで参ります。

校訓である「進取 創造」のもと地域になくてはならない学校として一丸となり、学校の活性化のみならず、地域をつくる人材の育成に努めて参ります。

皆様には、引き続き本校教育活動に對し、物心両面での御支援を賜りますようお願い申し上げます。



酒田光陵高等学校
スポーツ・文化後援会
会長
大場 弥市



校長
藤田 雅彦

令和5年度 収支決算書

【収入の部】			
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減
1.会費	3,906,000	3,488,000	▲ 418,000
(1)同窓会員	1,460,000	1,155,000	▲ 305,000
(2)保護者	2,274,000	2,161,000	▲ 113,000
(3)職員	172,000	172,000	0
2.寄付金	500,000	896,152	396,152
3.同窓会負担金	0	0	0
4.繰越金	7,752,213	7,752,213	0
5.雑収入	30	157,500	157,470
合 計	12,158,243	12,293,865	135,622

【支出の部】			
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減
1.事務費	500,000	145,569	▲ 354,431
2.スポーツ・文化振興費	6,000,000	4,869,080	▲ 1,130,920
(1)特別強化費	3,000,000	2,557,746	▲ 442,254
(2)育成支援費	2,500,000	1,927,293	▲ 572,707
(3)文化活動事業費	500,000	384,041	▲ 115,959
3.職員費負担金	0	0	0
4.積立金	3,500,000	3,500,000	0
5.予備費	2,158,243	19,500	▲ 2,138,743
合 計	12,158,243	8,534,149	▲ 3,624,094

令和5年度 特別会計収支決算書

【収入の部】			
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減
積立金	3,500,000	3,500,000	0
繰越金	3,700,082	3,700,082	0
雑収入	36	27	▲ 9
合 計	7,200,118	7,200,109	▲ 9

収入総額 12,293,865 - 支出総額 8,534,149 = 差引残額 3,759,716(次年度繰越金)

【監査報告】 令和5年度帳簿、その他諸表を監査したところ、いずれも正確に記帳され、適正に処理されていたので、報告します。
令和6年 4月15日 監事 小野寺香織 監事 山本 政史 監事 遠田 由美

令和6年度 スポーツ文化・後援会役員

【会 長】 大場 弥市
【副会長】 阿部 広幸 齋藤 学 藤田 雅彦

【理 事】 大石 薫 大場 清悦 後藤 泉 三浦 典子 澁谷 和仁
今井 貴一 今野 博義 小佐野利彦 後藤 俊之 齋藤 秀志
布施 良介 阿部 諭
【監 事】 山本 政史 阿蘇 真美 遠田 由美

令和6年度 スポーツ・文化後援会へ のご 寄 付 の お 願 い

スポーツ・文化後援会は「酒田光陵高等学校の活性化」と「活力ある地域づくり」を目的として平成27年に設立されました。支援金は酒田光陵高等学校の生徒のスポーツ・文化活動の振興に活用させていただきます。

活力ある地域づくりと、スポーツ・文化活動の支援を通した酒田光陵高等学校の活性化のため、ご支援・ご協力をお願いいたします。

寄 付 金 納 入 状 況 令和6年3月31日現在で、企業57社、個人延べ42名の皆様方よりご支援をいただいております。

※令和4年度に頂戴した寄付金につきましては、令和5年度の収入として計上させていただきます。

令和6年度 一般会計予算

【収入の部】			
科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減
1.会費	3,616,000	3,906,000	▲ 290,000
(1)同窓会員	1,155,000	1,460,000	▲ 305,000
(2)保護者	2,295,000	2,274,000	21,000
(3)職員	166,000	172,000	▲ 6,000
2.寄付金	800,000	500,000	300,000
3.同窓会負担金	0	0	0
4.繰越金	3,759,716	7,752,213	▲ 3,992,497
5.雑収入	150,284	30	150,254
合 計	8,326,000	12,158,243	▲ 3,832,243

【支出の部】			
科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減
1.事務費	300,000	500,000	▲ 200,000
2.スポーツ・文化振興費	6,500,000	6,000,000	500,000
(1)特別強化費	3,000,000	3,000,000	0
(2)育成支援費	2,500,000	2,500,000	0
(3)文化活動事業費	1,000,000	500,000	500,000
3.職員費負担金	0	0	0
4.積立金	0	3,500,000	▲ 3,500,000
5.予備費	1,526,000	2,158,243	▲ 632,243
合 計	8,326,000	12,158,243	▲ 3,832,243

令和6年度 特別会計予算

【収入の部】			
科 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減
積立金	0	3,500,000	▲ 3,500,000
繰越金	7,200,109	3,700,082	3,500,027
雑収入	91	36	55
合 計	7,200,200	7,200,118	82

寄付申し込み 払い込み方法 振替口座のご案内

寄付は法人1口5,000円の2口以上、個人1口2,000円以上とさせていただきます。多くの皆様からのご協力を願っています。本後援会のご寄付は所得控除の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

- 同封の郵便払込取扱票利用の場合... 最寄りの郵便局よりお振込みください
- 他の金融機関よりお振込みいただく場合... 右記の口座にお振込みください

ご支援、ご協力をいただきました寄付金につきましては上記予算のとおり活用させていただきます。振込みにつきまして不明な点等ございましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

山形県立酒田光陵高等学校 スポーツ・文化後援会

事務局 / 〒998-0015 山形県酒田市北千日堂前字松境7-3
TEL.0234-28-8833 FAX.0234-28-8845
E-mail sportsbunka@sakatakoryo.jp



運動部

《全国高校総体 出場》

【体操部】
遠田光希

【ウエイトリフティング部】
佐藤立陽 齋藤陽央

【ボート部】
本間颯太 佐藤翔太 高橋里穂
佐藤那奈 阿曾芽衣 高橋歩華

矢作 空

【少林寺拳法部】
渋谷悠斗 高橋 湊 太田琥於
佐藤修弥

【相撲】
村上大祐

《全国高校選拔大会 出場》

【剣道部】
相沢来玖 堀米秋嗣 西堀颯人
川木一臣 小関唯聖 鈴木 翼
箕輪楓真

【ウエイトリフティング部】
齋藤陽央

【少林寺拳法部】
太田琥於 佐藤修弥

文化部

【書道部】
●第47回全国高等学校
総合文化祭
「2023かごしま総文」書道部門出品
尾形彩華 鈴木未侑

【メカニカル技術部】
●第31回全国高等学校
ロボット競技大会出場
阿部直斗 吉川優平
村上大祐 田近虎太郎

佐藤琢哉

【電気電子技術部】
●ジャパンマイコンカーラリー2024
全国大会出場
武藤優生

【ITサイエンス部】
●シンギュラリティバトルクエスト2023
AIクエスト全国1位
佐藤拓真 土門陽貴
データクエスト全国1位
今野夢花 成澤葉月

初めて全国大会の舞台に立って



ウエイトリフティング部
佐藤 立陽

私は初めて
の全国大会に
参加して、会
場が県大会や
東北大会など
と違って独特

な雰囲気包まれていることを学びまし
た。県総体、東北高校総体とすごく
良い試技ができて、この流れに乗って
インターハイでも同じような試技がで
きれば、もしかしたら入賞もあるかも
しれないと思っていました。しかしプ
ラットフォームに立つと、会場の独特
な雰囲気にもまれ、いつもより集中で
きませんでした。自分の準備不足、努
力不足を実感しました。これから全国
大会に出る人たち、全国大会を目指す
人たちは、人一倍努力することを忘れ
ずに練習に励んでほしいです。それが
自信につながって、どんな場所に行っ
てもいつも通りのパフォーマンスがで
きると思います。

指導してくださった富樫先生、日々
の生活を支えてくださった保護者の
方々、応援してくださった方々があり
とうございました。国体では良い成績
を残せるようにこれからも頑張ってい
きます。

貴重な体験



体操部
遠田 光希

全国大会を
経験する中で、
私は努力と継
続の重要性を
痛感しました。
練習を重ね、

感謝



ウエイトリフティング部
齋藤 陽央

私は、石川
県金沢市で開
催された「全
国高等学校ウ
エイトリフ
ティング競技
選抜大会」に

出場しました。私の目標としていた大
会で、初めての出場だったこともあり、
とても緊張や不安が強かった印象があ
ります。

会場は、県大会や東北大会などとは
違ってとても広く、有名な選手がたく
さんいました。会場の雰囲気慣れる
のに時間がかかりましたが、アップ開
始からは、やってやろうという気持ち
が出てきて、それまでの緊張や不安が
吹き飛びました。

結果は七位となり入賞まであと一歩
のところでした。悔しい気持ちは残り
ましたが、今回の結果から緊張に強くな
ることや、気持ちで負けてはいけな
いということを学びました。

大会が開催される前に能登半島地震
の影響も心配されましたが、無事に開
催されることになり、大会関係者の
方々や指導してくださった先生、応援
してくれた家族、友人に感謝の気持ち
でいっぱいとなった大会でした。

困難な技を習得する過程で何度もあき
らめかけました。しかし、失敗も教訓
と受け止め、向上心を持つことで自身
の成長につなげることができました。

大会本番では緊張することなく、と
ても落ち着いていました。自己ベスト
更新という目標はありましたが、それ
よりも、私を支えてくださった先生方
コーチ、親族への感謝の思いを、演技
を通して伝えたいという気持ちが強
かったのを覚えています。ミスはあつ
たものの、今までで一番楽しく演技を
することができました。また、県外の
選手が「良い演技でした」と声をかけ
てくれたり、励ましたりと、お互い尊
重し合う姿勢に感動を覚えました。

この経験を通して、自身の成長だけ
でなく、相手を尊重する気持ちを養う
ことができました。今後はこの経験を
生かしていきたいと思いました。

成長



ボート部
本間 颯太

私にとって
二回目のイン
ターハイは、
今までの努力
が報われたと
思える大会で
した。

ボートを始めた頃はただ漠然と部活
動に取り組んでいたもので、東北大会以
上の大きな大会では、自分は勝てない
と決めつけていました。しかし、ある
大会で悔しい思いをしたことをきっかけ
にボートに対する意識が変わり、そ
れからの日々はさらに熱心に練習に取
り組み、確実に自分に自信が持てるよ
うになりました。その結果、六月の東

全国選抜大会に参加して



剣道部
相沢 来玖

私たちは剣道
部は、三年ぶ
りに全国選抜
大会に出場す
ることができ
ました。

会場の雰囲気いつもと違い、少し緊
張感がありました。開会式の入場行進
で各県の代表校がアナウンスされ、山
形県の代表としてこの場にいる喜びを
実感しました。

私たちの一回戦の相手は、全国でも
トップクラスである千葉県の東海大浦
安高校でした。事前にしっかりと相手
チームを分析し、これまでの練習の成
果を発揮して臨みましたが、残念ながら
勝つことはできませんでした。

大変悔しい思いが残りましたが、こ
の大会を通して、全国大会で勝つこと
の難しさを学ぶことができました。全
国の強豪校と剣を交えることができ、
とてもよい刺激を受け、実りの多い大
会となりました。

大会に携わってくださった方々、応
援してくださった方々に感謝の気持ち
でいっぱいです。次の目標であるイン
ターハイ出場に向け、部員一同、日々
の稽古に励んで参ります。

憧れの全国大会



書道部
鈴木 未侑

八月二日、
三日に開催さ
れた「二〇二
三かごしま総
文祭」に参加
しました。光

陵高校からは二名出場しました。全国
入賞は叶いませんでしたが、三年二組
尾形彩華さんの作品が東京展に出品さ
れることになりました。

全国大会で鑑賞した作品はどれも迫
力があり、見た瞬間に心惹かれる作品
ばかりでした。古典の特徴をよく調べ、
表現豊かな作品がたくさんありました。
二日目は交流会があり、他県の書道部
の方々と作品についての意見交換と、
コースター・しおり作りに取り組みま
した。書道コースのある高校の方々の
部活動の様子なども聞くことができま
した。さまざまな知識を得ることがで
きたので後輩部員に教え伝えていき
たいです。

このような貴重な経験ができたのは、

少林寺拳法



少林寺拳法部
太田 琥於

私は、今年
三月に行われ
た少林寺拳法
部の全国選抜大
会に出場しま
した。たくさ
んの経験を通

して、大きく成長することができました。
大会では、私の弱点を実感しました。
多くの選手の演武を見て、キレや腰の
低さ、突きのスピードを学ぶことがで
きました。また、私になくて他の選手
にあるものは、蹴る時の姿勢の良さで
す。私は、蹴る時に猫背になってしま
います。他の選手に追いつくために、
練習では柔軟運動と体幹トレーニング
をさらに強化して頑張っています。

しかし、他の選手に負けていないと
思う部分もありました。それは「気合」
です。「気合」とは、突きや蹴りを行う
時に出る声です。「気合」の声の大き
さは誰にも負けていないと思いました。
大会までに多くの方から応援をいた
だきました。それが自分の自信につな
がりました。ありがとうございました。

今年の夏にはインターハイに出場し
ます。私の高校最後となる大会なので、
全力で勝ちを狙い、上位入賞を目指し
ます。

感謝の気持ちを忘れない



相撲部
村上 大祐

今年のイン
ターハイは、
北海道北斗市
で八月四日か
ら六日まで開
催されました。

会場の北斗市総合体育館には全国各地
から多くの高校生が集まり、選手たち
の熱気であふれていました。自分は個
人戦に参加して三戦中二回以上勝てば
決勝トーナメントに進出できるのだ
が、一回戦目は押し出しで負け、二回
戦目は寄り切りで負け、三回戦目は寄
り倒して負けてしまいました。悔しく
も決勝トーナメントに進出することは
叶いませんでした。

試合の結果を振り返り、さまざまな
ことを感じ、学ぶことができました。
周りはどう変化しているのか、今の自
分には何が足りないのかです。イン
ターハイも終わり、両親や同じ相撲教
室の仲間、そして練習相手が少ない中、
自分に相撲を教えてくださった先生に
は本当に感謝の気持ちでいっぱいです。
感謝してもしきれません。みんなの応援
や指導がなければ自信を持って試合に
臨むこともできなかったでしょう。こ
れからも感謝の気持ちを忘れずに、こ
れまで支えてくれた方たちに恩返しで
きるように頑張りたいと思います。

全国大会に参加して



ITサイエンス部
土門 陽貴

私は、全国
高等学校A I
アスリート選
手権大会「シ
ンギュラリ
ティバトルク
エスト」に参

加しました。この大会では、AIなど
の最新の情報技術を競います。サイ
バーセキュリティやデータサイエンス
などの競技がある中、私たちはAI
クエストで全国優勝することができま
した。

この大会は、私にとって大切な学び
の機会となりました。ティープランニ
ングの技術力だけでなく、コミュニ
ケーションも同じくらい重要であるこ
とを実感しました。また、チームメイ
トとの意見交換は視野を広げ、課題解
決のための新しいアイデアとなりま
した。

顧問である湯澤先生の指導は、精神
的なサポートとして大きな助けとなり
ました。そして、友人や家族の応援が
励みになりました。
この大会への挑戦は、情報技術者を
目指す私にとって、かけがえのない経
験となりました。応援いただきありが
うございました。